

学童クラブって どんなところ？

問い合わせ こども育成課（内線 281）



**学童クラブは、
家庭と学校の架け橋**

市が運営する学童クラブでは、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学1～6年生の児童に、放課後の時間帯に保護者の代わりに家庭的な生活の場を提供し、「遊び」や「生活」を通して児童の健全な育成を図っています。

本市では、児童が安全に通えるように全ての学童クラブが小学校の敷地内にあります。子どもたちは学校が終わるとすぐに学童クラブに向かい、元気に「ただいま!」、「おかえり!」と指導員とあいさつを交わして、異なる年齢の子どもたちが集まる中で学年に関係なく楽しく過ごしています。

学童クラブを支える指導員は、子どもたちがくつろぎながら安心して過ごせるように見守り、生活のルールなどを分かりやすく教え、家庭的な環境で過ごせるように努めています。そんな学童クラブで一日の様子をお伝えします。

学童クラブの一日（月～金曜日）

13:00

〈指導員の動き〉

●開設準備

室内外の安全確認と掃除、留守番電話・ファックスの確認、季節のイベントの準備、おやつ発注、おたよりの作成



下校後

声かけ・見守り、出欠の確認、連絡帳の確認、おやつの準備

〈子どもたちの生活〉

学校が終わると真っすぐ学童クラブに向かいます。まずは宿題に取り組み、終われば室内でみんな遊びや自由遊びをします。

15:00

声かけ・見守り、おやつの提供、連絡帳の確認・記入

おやつを食べて一休みします。

16:00

声かけ・見守り、児童と遊びを通じて触れ合う

ドッジボール、サッカー、虫とりなどの外遊びや、けん玉、読書などの室内遊びをします。

16:45

声かけ・見守り、終わりの会、帰宅指導、忘れ物チェック

地区ごとで集まって帰宅します。

17:00

声かけ・見守り、保護者への申し送り、掃除・片付け・翌日の準備、日用品の発注などの事務作業、室内外の安全確認、戸締まり

遊びながら保護者のお迎えを待ちます。

19:00

指導員が足りていません！あなたの力を貸してください！

学童クラブ指導員（会計年度任用職員）を大募集

子どもたちと毎日触れ合うことで、新しい発見や元気をもたらえる笑顔の絶えない職場です。



任用期間

令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)

勤務日

月～土曜日のうち週5日勤務（ローテーションにより週6日勤務の場合あり）

勤務時間

月～金曜日＝午後1時～7時
土曜日＝午前8時30分～午後5時
学校休業期間（月～金曜日）＝午前8時～午後7時のうち8時間30分

勤務内容

遊び、見守り、整頓・掃除、保護者への連絡など子どもたちの放課後の生活を支援します

給与

月給 22万円（予定）～、昇給あり
※期末勤勉手当（年間4.6カ月〔令和6年度支給実績〕、採用当初は規定により減額されます）。
※交通費規定支給・有給休暇あり。

受験資格など、詳しくは市ウェブサイト（こども育成課のページ）をご覧ください。資格不問の短時間補助員（時給）も受け付けています。



学童クラブ指導員からのメッセージ ～私たちと一緒に働きませんか？～

○川西学童クラブ

川西学童では子どもたちに「集中力」と「自信」をつけるための1つとして「けん玉」に力を入れています。下級生は上級生を目標に、上級生は下級生に目標にされるという学童でしか体験できない内容で、お互いに刺激を受け上達する姿に感動を覚えています。私たちは、子どもたちと一緒に楽しくみんなが安心して過ごせる学童（居場所）をめざして取り組んでいます。ぜひ私たちと一緒に働きませんか？



○伏山台学童クラブ

自然がいっぱいの伏山台学童の子どもたちは、素直で元気いっぱいです。学校が終わると「ただいま」と元気に帰ってくるその笑顔で私たちもパワーをもらっています。部屋ではトランプや折り紙をしたり、外に行けばボール遊びや鬼ごっこをしたりして毎日が楽しいです。一緒に楽しくお仕事できる仲間をお待ちしています！



万博コラム vol. 9

複数回パスで早期来場を！



大阪・関西万博公式
キャラクターミャクミャク
©Expo 2025

万博チケットの
詳細はこちら▶



固政策推進課（内線 514）



公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
事務総長補佐兼運営統括室 上席審議役
西本 敬一

万博会場に近い地元関西の人にお勧めしたいのが、複数回パスです。複数回パスには2種類あり、通期パスは開幕日（4月13日(日)）から10月3日(金)までの174日間、夏パスは7月19日(土)から8月31日(日)までの44日間、いずれも午前11時以降であれば何度でも入場できます。例えば、小学生の夏パスは3000円で44日間入り放題、小学生の通期パスは7000円で174日間入り放題で、とてもお得です。

2005年の愛知万博では、全期券購入者が平均11回も入場されたそうです。最大の理由は、万博は1日ではとても回り切れないから。万博の経験者は、十分見るには最低1週間は必要と言います。何度も足を運べる地元のメリットを最大限活かして、会場に比較的余裕がある早期のご来場、4月から6月の平日が圧倒的にお勧めです。